

ご存じですか? 容器包装リサイクル法

その⑤

きちんと分け兵衛
「分ける」ではじまる
容器リサイクル



- 現在、三隅町では「空き缶、紙パック、古紙、段ボール」のリサイクル実施中
- 平成12年度中旬から「空きビン、ペットボトル」もリサイクル実施

リサイクルシステムの確立をめざして

リサイクルシステムは、市町村によって違う

ひとくちでリサイクルといっても、その方法は地域によって異なります。それは、各市町村によってリサイクルを行う背景が異なるためです。回収（収集）方法もそれぞれ違いますが、主な集め方は次の3通りです。

容器包装ごみの集め方

① 集団回収

町内会などの地域のみなさんと回収業者が協力して、回収の日時や場所を決め、自主的に回収する方法です。回収品目や回収業者なども、みなさんに決めていただきます。



② 拠点回収

役所や公民館、スーパーの店頭などに設置された回収ボックスに、牛乳パックやトレイ、電池、アルミ缶などを持ち寄る方法です。しかし、近くに回収所がないと不便ですし、回収所から再生工場までの費用負担などの問題もあります。



③ 分別収集

市町村が、市町村の負担のもとで容器包装の収集を行う方法です。一般ごみと同じく、曜日を決めて収集します。



リサイクルが確実に、円滑に行われるためには、リサイクルシステムの確立が重要です。どこで、だれが、どのようにしてリサイクルに協力し、リサイクルをすすめていくのか、その地域に合った方法が求められています。

湯免ふれあいセンター 開館6周年記念 入浴無料開放 3月15日(水)

① 入浴無料

- 午前10:00から午後8:30まで
(最終受付は午後8:00)
- サウナご利用の場合 貸バスタオル 100円



② 福引抽選会

- 大広間にて 時刻は当日連絡
 - 先着 300名様
- 詳しくは湯免ふれあいセンター
(☎43-1000)へお尋ね下さい

※なお、当館では3月1日から4月2日までひな人形を展示しています。

2月18日、香月美術館の入館者が25万人を迎えました。25万人目となったのは、福岡市の執行律子さんと、同年の仲良しグループ14人による2泊3日萩津和野巡りで、グループの中のお一人がぜひ香月美術館に行きたいと希望され、来館となったとのこと。執行さんは、「幸せです。いい記念になりました」と感想を述べられました。美術館からは複製画「椿花」と図録が記念品として送られました。

香月美術館入館25万人

